

GRIスタンダード対照表

矢崎グループ「CSR REPORT 2020」およびウェブサイトは、GRIの「サステナビリティ・レポート・スタンダード2018」を参考にしています。

※1 矢崎総業(株)、矢崎計器(株)、矢崎部品(株)、矢崎エナジーシステム(株)の国内4社

※2 日本国内における省エネ法対象法人 (矢崎総業、矢崎計器、矢崎エナジーシステム、相良プラスチック、日本連続端子、大分部品、岐阜工機)

一般開示項目

GRIスタンダード	開示事項	CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
GRI 102 : 一般開示事項 2016	組織のプロフィール	
	102-1 組織の名称	P4 会社概要
	102-2 活動、ブランド、製品、サービス	P7-8 社会を支える事業分野 P22-24 お客様への責任
	102-3 本社の所在地	P4 会社概要
	102-4 事業所の所在地	P4 会社概要 矢崎グループホームページ「矢崎グループ情報 / 国内拠点、海外拠点、子会社等」
	102-5 所有形態および法人格	P4 会社概要
	102-6 参入市場	P7-8 社会を支える事業分野 P22-24 お客様への責任
	102-7 組織の規模	P4 会社概要 P5-6 矢崎グループ早わかり
	102-8 従業員およびその他の労働者に関する情報	P4 会社概要 P5-6 矢崎グループ早わかり
	102-9 サプライチェーン	P26-27 健全かつ強固なサプライチェーンの構築
	102-10 組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化	P26-27 健全かつ強固なサプライチェーンの構築
	102-11 予防原則または予防的アプローチ	P42-43 環境マネジメント「環境リスクマネジメント」 P55 内部統制の強化「BCP(災害対策)」
	102-12 外部イニシアティブ	P12 矢崎グループが取り組むべき社会課題と持続可能な開発目標 (SDGs) P27 仕入先への責任 (紛争鉱物調査への対応)
	102-13 団体の会員資格	経済団体や業界団体に参画し、各種届出、調査・アンケートへの回答などを通じた信頼関係の構築と、ステークホルダーからの期待や要請に応えるよう努めています。
	戦略	
	102-14 上級意思決定者の声明	P9-10 社長メッセージ P19-20 会長メッセージ
	102-15 重要なインパクト、リスク、機会	P9-10 社長メッセージ P11-14 矢崎グループのCSR
	倫理と誠実性	
	102-16 価値観、理念、行動基準・規範	P3 社是、経営基本方針 P11 矢崎グループのCSR「CSR方針」 矢崎グループホームページ「矢崎グループのCSR」 https://www.yazaki-group.com/csr/
	102-17 倫理に関する助言および懸念のための制度	P54-55 コンプライアンス
	ガバナンス	
	102-18 ガバナンス構造	P53 コーポレート・ガバナンス
	102-19 権限移譲	P14 CSR推進体制 P53 コーポレート・ガバナンス
	102-20 経済、環境、社会項目に関する役員レベルの責任	P14 CSR推進体制
	102-21 経済、環境、社会項目に関するステークホルダーとの協議	P14 CSR推進体制、ステークホルダーとの関わり
	102-22 最高ガバナンス機関およびその委員会の構成	P53 コーポレート・ガバナンス
	102-23 最高ガバナンス機関の議長	P53 コーポレート・ガバナンス
	102-24 最高ガバナンス機関の指名と選出	—
	102-25 利益相反	—
	102-26 目的、価値観、戦略の設定における最高ガバナンス機関の役割	P14 CSR推進体制
	102-27 最高ガバナンス機関の集会的知見	P14 CSR推進体制
	102-28 最高ガバナンス機関のパフォーマンスの評価	P14 CSR推進体制
	102-29 経済、環境、社会へのインパクトの特定とマネジメント	P14 CSR推進体制
	102-30 リスクマネジメント・プロセスの有効性	P14 CSR推進体制 P53 コーポレート・ガバナンス P54 内部統制の強化
	102-31 経済、環境、社会項目のレビュー	P14 CSR推進体制 P53 コーポレート・ガバナンス P54 内部統制の強化
102-32 サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	P14 CSR推進体制	
102-33 重大な懸念事項の伝達	P14 CSR推進体制	
102-34 伝達された重大な懸念事項の性質と総数	—	
102-35 報酬方針	—	

GRIスタンダード	開示事項	CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
102-36	報酬の決定プロセス	—
102-37	報酬に関するステークホルダーの関与	—
102-38	年間報酬総額の比率	—
102-39	年間報酬総額比率の増加率	—
ステークホルダー・エンゲージメント		
102-40	ステークホルダー・グループのリスト	P14 ステークホルダーとの関わり
102-41	団体交渉協定	P29 従業員への責任
102-42	ステークホルダーの特定および選定	P14 ステークホルダーとの関わり
102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	P14 ステークホルダーとの関わり
102-44	提起された重要な項目および懸念	P11-14 矢崎グループのCSR P57 第3者意見
報告書のプロフィール		
102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	P4 会社概要 ・矢崎グループホームページ「矢崎グループ情報 / 国内拠点、海外拠点、子会社等」 https://www.yazaki-group.com/company/
102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	P2 レポート概要
102-47	マテリアルな項目のリスト	P11-14 矢崎グループのCSR
102-48	情報の再記述	該当する内容はありません
102-49	報告における変更	該当する内容はありません
102-50	報告期間	P2 レポート概要
102-51	前回発行した報告書の日付	裏表紙
102-52	報告サイクル	P2 レポート概要
102-53	報告書に関する質問の窓口	裏表紙
102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張	P2 参考ガイドライン GRIスタンダード対照表
102-55	GRI内容索引	GRIスタンダード対照表
102-56	外部保証	—

マテリアルな項目=★印

経済

GRIスタンダード	開示事項	CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ	
経済パフォーマンス			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
	103-2	マネジメント手法とその要素	—
	103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 201 : 経済パフォーマンス 2016	201-1	創出、分配した直接的経済価値	P5-6 矢崎グループ早わかり
	201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	—
	201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	—
	201-4	政府から受けた資金援助	—
★地域での存在感			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P38 地域社会への発展
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-14 矢崎グループのCSR P39-40 地域社会への発展
GRI 202 : 地域での存在感 2016	202-1	地域最低賃金に対する標準新人給与の比率（男女別）※1	初任給実績(2020年4月) https://www.yazaki-group.com/recruit/newgrads/recruit/personality/
	202-2	地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	—

GRIスタンダード	開示事項		CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
★間接的な経済的インパクト			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P38 地域社会への発展
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-14 矢崎グループのCSR P39-40 地域社会への発展
GRI 203 : 間接的な経済的インパクト 2016	203-1	インフラ投資および支援サービス	P15-18 特集 地域とともに発展する企業をめざして メルコスール地域の取り組み
	203-2	著しい間接的な経済的インパクト	P15-18 特集 地域とともに発展する企業をめざして メルコスール地域の取り組み
★調達慣行			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P25 健全かつ強固なサプライチェーンの構築
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-14 矢崎グループのCSR P26-27 仕入先への責任
GRI 204 : 調達慣行 2016	204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	P26-27 仕入先への責任
★腐敗防止			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P53-56 グローバルなガバナンス、内部統制の強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-14 矢崎グループのCSR P53-56 グローバルなガバナンス、内部統制の強化
GRI 205 : 腐敗防止 2016	205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	—
	205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	P54-56 内部統制の強化
	205-3	確定した腐敗事例と実施した措置※1	該当する事例はありません
★反競争的行為			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P52 グローバルなガバナンス、内部統制の強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-14 矢崎グループのCSR P53-56 グローバルなガバナンス、内部統制の強化
GRI 206 : 反競争的行為 2016	206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置※1	該当する事例はありません

環境

GRIスタンダード	開示事項		CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
原材料			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
	103-2	マネジメント手法とその要素	—
	103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 301 : 原材料 2016	301-1	使用原材料の重量または体積	—
	301-2	使用したりサイクル材料	P46-47 資源循環
	301-3	再生利用された製品と梱包材	P46-47 資源循環
★エネルギー			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P41 グローバル環境マネジメントシステムの強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-14 矢崎グループのCSR P44-46 気候変動への対応
GRI 302 : エネルギー 2016	302-1	組織内のエネルギー消費量※2	63,931KL ※2
	302-2	組織外のエネルギー消費量	—
	302-3	エネルギー原単位	—
	302-4	エネルギー消費量の削減	—
	302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	P50 環境配慮設計

GRIスタンダード	開示事項		CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
★水と排水			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P41 グローバル環境マネジメントシステムの強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P48 水資源の保全
GRI 303 : 水と排水 2018	303-1	共有資源としての水との相互作用	P48 水資源の保全
	303-2	排水に関連するインパクトのマネジメント	P42-43 環境マネジメント P48 水資源の保全
	303-3	取水	P48 水資源の保全
	303-4	排水	—
	303-5	水消費	P46-47 資源循環
★生物多様性			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P41 グローバル環境マネジメントシステムの強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P44 生物多様性の保全
GRI 304 : 生物多様性 2016	304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	—
	304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	—
	304-3	生息地の保護・復元	—
	304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	—
★大気への排出			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P41 グローバル環境マネジメントシステムの強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P44-46 気候変動への対応、P49化学物質排出量の削減と管理
GRI 305 : 大気への排出 2016	305-1	直接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ1）	P44-46 気候変動への対応
	305-2	間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ2）	P44-46 気候変動への対応
	305-3	その他の間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ3）	P44-46 気候変動への対応
	305-4	温室効果ガス（GHG）排出原単位	P44-46 気候変動への対応
	305-5	温室効果ガス（GHG）排出量の削減	P44-46 気候変動への対応
	305-6	オゾン層破壊物質（ODS）の排出量	—
	305-7	窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、およびその他の重大な大気排出物	P49 化学物質管理
★排水および廃棄物			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P41 グローバル環境マネジメントシステムの強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P46-47 資源循環、P48 水資源の保全
GRI 306 : 排水および廃棄物 2016	306-1	排水の水質および排出先	—
	306-2	種類別および処分方法別の廃棄物	P46-47 資源循環
	306-3	重大な漏出	—
	306-4	有害廃棄物の輸送	P49 化学物質管理
	306-5	排水や表面流水によって影響を受ける水域	P48 水資源の保全
★環境コンプライアンス			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P41 グローバル環境マネジメントシステムの強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P42-43 環境マネジメント
GRI 307 : 環境コンプライアンス 2016	307-1	環境法規制の違反※1	—

GRIスタンダード	開示事項		CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
★サプライヤーの環境面のアセスメント			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P25 健全かつ強固なサプライチェーンの構築
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P26-27 仕入先への責任
GRI 308 : サプライヤーの環境面のアセスメント 2016	308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	—
	308-2	サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	P26-27 仕入先への責任

社会

GRIスタンダード	開示事項		CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
★雇用			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P31多様性の尊重
GRI 401 : 雇用 2016	401-1	従業員の新規雇用と離職	2020年度 採用数(大卒以上) 121名、3年後離職率 11.5%
	401-2	正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	—
	401-3	育児休暇	P31 多様性の尊重
★労使関係			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P29 従業員への責任
GRI 402 : 労使関係 2016	402-1	事業上の変更に関する最低通知期間	従業員の配置転換や転籍が必要な際には、決定後速やかに当該本人に通知する
★労働安全衛生			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P35 健康経営の推進、P36-37 安全で働きやすい職場づくり
GRI 403 : 労働安全衛生 2018	403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	P36-37 安全で働きやすい職場づくり
	403-2	危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	P36-37 安全で働きやすい職場づくり
	403-3	労働衛生サービス	P36-37 安全で働きやすい職場づくり
	403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	P36-37 安全で働きやすい職場づくり
	403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	P36-37 安全で働きやすい職場づくり
	403-6	労働者の健康増進	P35 健康経営の推進
	403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	—
	403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	P36-37 安全で働きやすい職場づくり
	403-9	労働関連の傷害	P36-37 安全で働きやすい職場づくり
	403-10	労働関連の疾病・体調不良	—
★研修と教育			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P33-34 次代を担う人材の育成
GRI 404 : 研修と教育 2016	404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間※1	5.6時間※1
	404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	P33-34 次代を担う人材の育成
	404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	—

GRIスタンダード	開示事項		CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
★ダイバーシティと機会均等			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P31-32 多様性の尊重
GRI 405 : ダイバーシティと機会均等 2016	405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ※1	管理職に占める女性労働者の割合 2.0% (28名 管理職男女合計1,362名)※1
	405-2	基本給と報酬総額の男女比	—
★非差別			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P30 人権の尊重
GRI 406 : 非差別 2016	406-1	差別事例と実施した救済措置※1	該当する事例はありません
★結社の自由と団体交渉			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P29 従業員への責任
GRI 407 : 結社の自由と団体交渉 2016	407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	—
★児童労働			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立(事業所) P25 健全かつ強固なサプライチェーンの構築(サプライヤー)
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P30 人権の尊重(事業所) P26-27 仕入先への責任(サプライヤー)
GRI 408 : 児童労働 2016	408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	—
★強制労働			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立(事業所) P25 健全かつ強固なサプライチェーンの構築(サプライヤー)
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P30 人権の尊重(事業所) P26-27 仕入先への責任(サプライヤー)
GRI 409 : 強制労働 2016	409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	—
保安慣行			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
	103-2	マネジメント手法とその要素	—
	103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 410 : 保安慣行 2016	410-1	人権方針や手順について研修を受けた保安要員	—
★先住民の権利			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P28 真に強い組織の確立(事業所) P25 健全かつ強固なサプライチェーンの構築(サプライヤー)
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P30 人権の尊重(事業所) P26-27 仕入先への責任(サプライヤー)
GRI 411 : 先住民の権利 2016	411-1	先住民の権利を侵害した事例	—
★人権アセスメント			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P25 健全かつ強固なサプライチェーンの構築(サプライヤー) P28 真に強い組織の確立(事業所)
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P26-27 仕入先への責任(サプライヤー) P30 人権の尊重(事業所)

GRIスタンダード	開示事項		CSR REPORT 2020およびウェブサイト掲載ページ / 開示データ
GRI 412 : 人権アセスメント 2016	412-1	人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	P30 人権の尊重
	412-2	人権方針や手順に関する従業員研修	P30 人権の尊重 英国現代奴隷法に関するステートメント https://www.yazaki-group.com/csr/statement.html
	412-3	人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約	—
★地域コミュニティ			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P38 地域社会発展への貢献
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P39-40 地域社会への責任
GRI 413 : 地域コミュニティ 2016	413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	P15-18 特集 地域とともに発展する企業をめざして メルコスール地域の取り組み P39-40 地域社会への責任
	413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト（顕在的、潜在的）を及ぼす事業所	—
★サプライヤーの社会面のアセスメント			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 矢崎グループのCSR
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P25 健全かつ強固なサプライチェーンの構築
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P26-27 仕入先への責任
GRI 414 : サプライヤーの社会面のアセスメント 2016	414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	—
	414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	P26-27 仕入先への責任
公共政策			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
	103-2	マネジメント手法とその要素	—
	103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 415 : 公共政策 2016	415-1	政治献金	—
★顧客の安全衛生			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P21 社会の豊かさ向上のためのソリューション提供
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-14 矢崎グループのCSR P22-24 お客様への責任
GRI 416 : 顧客の安全衛生 2016	416-1	製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	P22-24 お客様への責任
	416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	—
★マーケティングとラベリング			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P21 社会の豊かさ向上のためのソリューション提供
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-14 矢崎グループのCSR P22-24 お客様への責任
GRI 417 : マーケティングとラベリング 2016	417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	—
	417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	—
	417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	—
顧客プライバシー			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
	103-2	マネジメント手法とその要素	—
	103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 418 : 顧客プライバシー 2016	418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	該当する事例はありません
★社会経済面のコンプライアンス			
GRI 103 : マネジメント手法 2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	P13 特定した重点課題
	103-2	マネジメント手法とその要素	P11-14 矢崎グループのCSR P52 グローバルなガバナンス、内部統制の強化
	103-3	マネジメント手法の評価	P11-12 矢崎グループCSR推進上の重点課題 P53-54 コンプライアンス
GRI 419 : 社会経済面のコンプライアンス 2016	419-1	社会経済分野の法規制違反※1	該当する事例はありません